

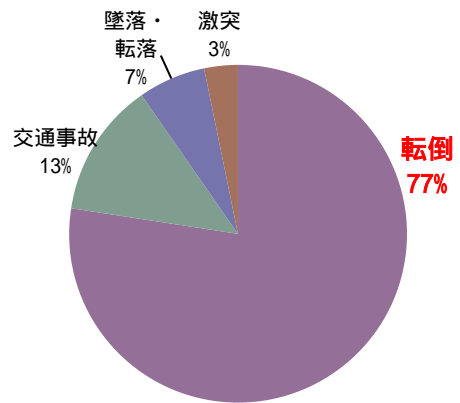
冬季特有災害を防止しよう！

平成28年4月から平成29年3月までに28件の冬季特有災害が発生しました。1月が19件と最も多く、転倒災害が7割を超えております。

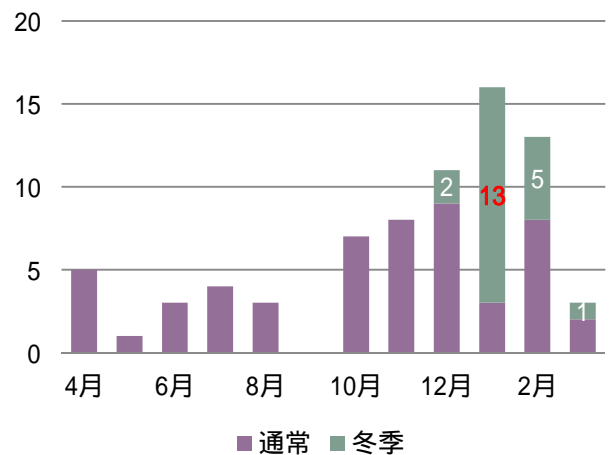
STOP！転倒災害



冬季特有災害事故の型



転倒災害発生状況



12月から翌年3月までを強調期間として、転倒災害を含む冬季特有災害防止の防止に取り組みましょう！取り組み内容は・・・(裏面へ)

転倒災害の防止（チェックリスト）

	実施事項	取組状況 (、×)
寒くなる前に行うこと	事業場のトップが、転倒災害を防止するための取り組みについて、決意表明を行っている。	
	過去の転倒災害、ヒヤリハット情報から危険箇所を洗い出し、必要な措置を検討している。	
	危険マップを作成している。	
	必要となる融雪剤を事前に確保している。	
	転倒災害防止の重要性（危険箇所の周知、不安全行動、省略行動等）について教育を行っている。	
冬期間継続的に行うこと	天気予報を活用する等して事前に情報を集め、注意喚起をしている。	
	降雪、凍結等が予想される場合、滑りにくい履物の着用を指示している。	
	事業場内、駐車場の除雪、融雪剤の散布等、凍結防止を実施している。	
	除雪等で重機を使用する場合、事前に作業従事者の資格等を確認している。	
	除雪等で重機を使用する場合、自主検査、点検を行ったうえで使用している。	

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！ 転倒

検

墜落・転落、交通事故、CO中毒 他

	実施事項	取組状況 (、×)
	高所で除雪等を行う際は、滑りにくい履物、安全带、ヘルメット等を使用して作業を行っている。	
	タイヤ交換の時期を定め周知している。	
	「1・2・3運動」等の交通事故防止運動を実施している。 1割スピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発	
	作業場所にCO中毒を防止するための有効な換気設備を備え、かつ、有効に保持している。又は、十分に換気を行っている。	
	体操を行うなど、準備運動を行ってから作業を開始している。	

厳しい冬を迎えるに当たり、施設の改善や安全衛生活動等をもう一度見直し、改善すべきところは直ちに対策を講じましょう！